

平成 29 年 7 月 1 日

第 47 号

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します

開院 30 周年を迎えて



病院長 田口芳雄



「よこはま 21 世紀プラン」の一環として横浜市西部医療圏のこの地に聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院が誕生して早 30 年が過ぎようとしています。この間、西部病院が横浜地域中核病院として着実に歩を進めることができたことは皆さま方のご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

当初からみると、社会は大きく変容しました。医療も同様で、社会保障制度、医師他の人材育成制度なども改変されるとともに、先進的医療機器や薬剤の開発・導入が進み、高度な医療提供が可能となって参りました。一方で、ときに誰のための医療だろうかと思うようなこともあります。この機に明日に向かって、いま一度西部病院の役割を確認したいと思います。

当院は横浜市の地域中核病院であり、地域医療支援病院、かつ災害拠点病院であります。また、聖マリアンナ医科大学の教育病院の一つでもあります。30 年の歳月はハードにもソフトにも様々な老朽化をもたらしました。先の震災で顕在化した病院外壁や非常用エネルギー供給体制の問題は幸い既に解決しました。災害拠点として地域医療連携も着々と構築されています。地域中核病院としては今後の高齢化社会を見据えた地域医療構想をもとに、救急医療、超急性期・急性期医療に対応して参ります。要点はシームレスな医療機関連携であり、そのためには感染管理を含めた医療安全、医療の質の担保が必須です。教職員の協力体制は言うまでもなく、人材育成の場としても柔軟に対応しなければなりません。

医療には「これでよい」といったゴールがありません。常に新しい課題が生じます。今後解決すべきは早急に解決し、継続すべきはより良くという心構えで取り組んで参ります。私も、「人」の尊厳を重んじ、その「人」の声に耳を傾け、「癒すこと」を理念に掲げ、職業人の「誇り」を持って、知識、技術の向上に努め、調和のとれた病院を目指したいと思う次第です。

今後とも皆さま方のご指導、ご助言のほどを心からお願い申し上げます。

シリーズ 部署 紹介

1 1 クリニカルエンジニア部

院内では高度で質の高い医療を提供するために、あらゆる分野で医療機器が使用されています。

クリニカルエンジニア部は医療機器の取り扱いに関して専門教育を受け国家資格を取得した臨床工学技士 14 名が

呼吸・循環・代謝に関わる生命維持管理装置(人工呼吸器・人工心肺装置・人工透析装置など)などの臨床技術の提供および保守管理にあたる専門の部署です。

救命救急センターや手術室、血液透析室、血管造影室、新生児集中治療室などですべての医療従事者に医療機器の正しい取り扱いを指導・啓発することも大切な仕事です。

また、近年では在宅医療に関し患者様やご家族への医療機器の使用方法的指導などの支援を含め、医師その他の医療関係者と連携を図りチーム医療を担う一員として臨床技術の提供を行っています。



クリニカルエンジニア部

部長 永納 和子

技術課長 岡部 栄

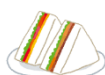
患者さまのご意見から No.14

コンビニのイートインスペースが需要に対して全然足りていない。コンビニ横にある庭の部分にまで拡大してもいいと思うくらいに、お昼時は、混んでいます。先生や看護師さんは自分たちの食べる所があるでしょうから困らないですが、外来の人は、イートインの場所しかテーブルがないのにすごく少ない。やっと空いてきたと思ったら、今度は掃除の時間といって閉めてしまうなんておかしい！

当院からの回答

患者様には、ご不便をおかけして申し訳ございませんでした。現状、ファミリーマートのイートインスペースの問題もあり拡大は難しいですが、院内の地下食堂施設のご利用もできますので、食堂入口に案内を掲示させていただきました。またコンビニ内の全面清掃についても、20:00以降に実施するように変更しております。

今後も、病院内の環境調整を実施していきます。貴重なご意見ありがとうございました。



夏バテ予防・・・酢の効能

夏バテにならないための日常的な対策には、十分な睡眠と規則正しい生活、色々な栄養素と水分や塩分などのミネラル（電解質）を取り入れたバランスの良い食事摂取が大切です。

ここでひとつ夏バテ予防のために、「酢」を食事の中に意識的に取り入れてみるのはいかがでしょうか？



酢は総務省の家計調査によると、国民1人辺りの購入量が平成12年から平成27年まで3割減少しています。酢を利用している調味料（ポン酢やドレッシングなど）の購入量の使用が増えてはいますが、酢の物や酢めなどの和食料理の調理が減っていることが原因だと考えられます。

【お酢の効能】

1) 食欲増進効果

主成分である酢酸には唾液や胃液の分泌を促進し、消化酵素の働きを活性化させる働きがあり食欲増進の手助けをします。また、内臓脂肪の減少を促進する作用や腸内の善玉菌を増やして働きを活性化させる作用もあるため、ダイエットや便秘にも効果が期待できます。

2) 疲労回復効果

酢に含まれる酢酸は体内に入るとクエン酸に変換され、疲労の原因となる乳酸を分解する働きがあります。クエン酸には、血行促進や疲労の原因になる乳酸を抑制する効果も期待できます。

3) 防腐・殺菌効果

防腐や殺菌効果があります。

4) 減塩

塩味が程よく合うため、塩分を控えても味を損なわないので上手に使用することにより塩分の取りすぎを抑制できます

5) カルシウムの吸収をサポート

日本人に不足しがちな栄養素であるカルシウムの吸収をサポートする働きもあります。吸収率の悪いカルシウムも、酢と一緒に摂ることで効率良く摂取することができます

以上のように「酢」には様々な効能があります。食事に上手に取り入れて暑い夏を乗り切りましょう。

栄養部
副部長 清水 朋子

～栄養相談室からのおしらせ～



糖尿病や腎臓病の食事療法はもちろんですが、

- ・食事が摂れない
- ・食事が飲み込みづらい
- ・体重が減少し体力がない
- ・栄養状態に不安がある
- ・何を食ったらよいか 等

管理栄養士が病状にあった食事、食品の選択や調理上の注意、栄養補助食品、宅配食などについて食事や食生活に対する総合的な栄養の指導をさせていただきます。

「栄養食事指導」は予約制となっておりますので、主治医・担当医にお声かけください。

人間ドック お申し込み受付中

あなたの誕生日



その特別な日に、人間ドックを受けてみてはいかがでしょうか？

健康管理部

お問い合わせ

045-366-1111 (代表)

(平日 8:30~17:00)



総合相談部からのお知らせ

総合相談部では、入院中、または外来診療中の患者さま、ご家族のご相談を承っています。ご相談内容については、秘密を厳守します。どうぞ、お気軽にご相談下さい(ソーシャルワーク係、ホームケア係は、事前にご予約をお願いします)。内容は、以下の通りです。

【**ソーシャルワーク係**】利用できる社会保障・サービス・病院や施設のことを相談したい、医療費や生活費が心配、転院の相談、など。

【**ホームケア係**(看護相談など)】介護の仕方が分からない、訪問看護を受けたい、など。

【**地域医療連携係**】近くの医院やクリニックを探したい、紹介状について知りたい、など。

【**総合案内**】受診の手続きを知りたい、院内のことについて知りたい、など。

【**患者さま相談窓口**】ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい。

総合相談部の場所：

- ・ソーシャルワーク係、ホームケア係(1階正面玄関横)
- ・地域医療連携係、患者さま相談窓口(1階産婦人科外来横)
- ・総合案内(1階正面玄関)



当院は原則として「**初診紹介制**」となっています。初めて受診されるときは、地域医療機関(かかりつけ医等)からの「紹介状」をお持ちください。初診時に予約制を実施している科もあります。詳しくは、院内のチラシ、ホームページまたは、総合案内、地域医療連携係へご確認下さい。

【**当院の休診日**】 日曜日、国民の祝日、第1・3土曜日、開学記念日(10月第2土曜日)、
年末年始(12月29日~1月3日)

発行：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 地域広報小委員会
〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 TEL：045-366-1111(代)

次回(第48号)は、平成29年10月1日発行予定です。